チェックリスト
喀痰吸引②　鼻腔内吸引

3年介護福祉コース　　席　名前

		実施項目	評価の基準	声かけ	1	2	3	4	5	6	7	8
					／	／	／	／	／	／	／	／
					:	:	:	:	:	:	:	:
準備	1	医師の指示等の確認を行う。	医師の指示（利用者の名前、吸引圧、吸引時間、挿入出来る深さ、留意点）を確認できたか。	医師の指示書の確認。 A様、鼻腔内吸引、吸引圧20以下、深さ10cm、15秒以内。								
準備	2	手洗いを行う。	手洗いを忘れず行うことができたか。	手を洗う。								
準備	3	必要物品を確認し、利用者のもとに運ぶ。	必要物品があるか確認し洗浄水をカップに移すなどの準備ができたか。利用者のもとに運ぶことができたか。※入室の挨拶ができたか。	必要物品の確認。洗浄水をカップに入れる。 利用者のもとに運ぶ。A様、失礼します。								
準備	4	吸引器の作動状況等を点検する。	電源を入れて異常がないか確認することができたか。※作動状況、音、平らな場所であるかなど。	吸引器の作動確認。異常なし。								
実施	5	利用者に吸引の説明をする。	吸引に対する説明と同意ができたか。※鼻腔内吸引であることを伝えたか。	A様、今から鼻腔内の吸引をさせていただきます。よろしいでしょうか。								
実施	6	環境・利用者の姿勢を整える。	プライバシーに配慮し、姿勢を整えることができたか。※タオルを頭の下に入れることができたか。	姿勢を整える為に、頭の下にタオル入れさせていただきますね。								
実施	7	口腔内・鼻腔内を観察する。	口腔内・鼻腔内の状態（痰の状態、出血、傷の有無）を確認できたか。	口腔内、鼻腔内の観察。出血等なし。								
実施	8	手袋を着用する。	適切に着用することができたか。	手袋をつける。								
実施	9	吸引チューブを取り出す。	チューブの連結部分を持ち、チューブ全体がどこにも触れないように清潔に気をつけて取り出すことができたか。	吸引チューブを取り出す。								
実施	10	吸引チューブを連結する。	吸引チューブと連結管を清潔に連結できたか。	吸引チューブを連結する。								
実施	11	吸引器の電源を入れ、水を吸い、吸引圧の確認をする。	医師の指示に合った吸引圧であることを目視で確認ができたか。	水を吸う。 吸引圧20以下。								
実施	12	吸引チューブ先端の水をよく切る。	水滴がついていない状態にできたか。	水を切る。								
実施	13	利用者に吸引開始について声かけを行う。	吸引開始の声かけができたか。	A様、準備ができましたので今から吸引を始めます。								
実施	14	適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する。	圧をかけずにチューブを挿入し深さを守ることができたか。※チューブは鉛筆持ちをし、親指で折り圧がかからないようにできたか。吸引圧を目視で確認できたか。	鼻腔内吸引、深さ10cm、吸引圧20以下。								
実施	15	適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する。	吸引時間を守り、吸引チューブを回転させながら吸引できたか。	15秒以内。								
実施	16	吸引チューブを抜く。	吸引チューブを回転させながら静かに抜くことができたか。	抜く。								
実施	17	吸引チューブ外側の汚れを落とす。	洗浄綿で一方向に一度だけ拭くことができたか。	外側を拭く。								
実施	18	吸引チューブ内側の汚れを落とす。	洗浄水を吸引し、洗浄できたか。	内側をきれいにする。								
実施	19	吸引器の電源を切る。	吸引チューブを持っていない手で電源を切ることができたか。	電源を切る。								
実施	20	吸引チューブを保管容器に戻す。	吸引チューブを保管容器に確実に納めることができたか。連結管の水を吸引瓶に流すことができたか。	容器に戻す。								
実施	21	手袋をはずす。	外側を内になるようにして外すことができたか。	手袋をはずす。								
実施	22	利用者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える。	利用者に吸引終了を伝え、姿勢を整えることができたか。※頭の下のタオルを外すことができたか。	A様、吸引終了しました。痰は取れましたか。大丈夫ですか。 姿勢を整える為に頭の下のタオルをはずさせていただきますね。								
実施	23	吸引物および利用者の状態を観察する。	排液の状態を観察できたか。利用者の状態を観察できたか。※痰の量、性状、顔色、呼吸状態など。	吸引物の状態を観察する。 A様の状態を観察する。								
実施	24	利用者の吸引前後の状態変化を観察する。	利用者の吸引前と吸引後の状態変化を観察できたか。	吸引前と吸引後の状態変化を観察する。 それでは、失礼します。								
実施	25	手洗いを行う。	手洗いを忘れず行うことができたか。	手を洗う。								
報告	26	吸引物および利用者の状態を報告する。	吸引が終了したこと、吸引物・利用者の状態を報告できたか。	A様の鼻腔内吸引、終了しました。 吸引物に血液等の混入はありませんでした。A様もすっきりされた様子でした。								
報告	27	ヒヤリハット・アクシデントについて報告する。	ヒヤリハット・アクシデントの有無について報告できたか。	ヒヤリハット・アクシデントはありませんでした。								
片づけ	28	吸引瓶の排液量が70～80%になる前に排液を捨てる。	排液の量を確認し、適切な処理ができたか。	排液を捨てる。								
片づけ	29	使用物品を速やかに片づける。（交換する）	使用物品を片付けることができたか。	片づけをする。								

記録	30	実施記録を記載する。	記録することができたか。	記録する。								